

(オプアウト文書)

研究に関する情報公開文書 (研究対象者向け)

COVID-19 流行に伴うオンライン授業導入下での学習環境に対する学生の意識

- 教育評価資料を用いた後方視的研究 -

へご協力をお願い

—2020年10月1日から2022年3月31日までに、三重大学医学部医学科に在籍された方へ—

研究機関名：三重大学

研究責任者：医学・看護学教育センター 堀 浩樹

研究分担者：教養教育院 太城康良

1. 研究の概要

1) 研究の意義

ウイズコロナの社会状況が続くことにより、医学科での授業形態や学習環境は、流行状況に合わせて、変更が加えられたり、授業実施の制限が継続されることが想定されます。そのようななか、学生の学修の進捗や成果は、学習環境に影響され、また、学生の学習環境に対する意識や適応力が、学生の学修成果にも関係すると報告されています。

強い行動制限が求められる社会情勢は、これまでに我々が経験したことのない状況であり、大学において授業の実施方法などに苦慮しています。また、学生への教育効果を後退させない方策が求められていますが、そのためには、学習環境に対する学生の意識を科学的、客観的に評価することが求められます。そのようななか、本研究の成果は、今後の授業運用計画や教員のあり方を考える上での重要なエビデンスとなるという意義を有しています。

2) 研究の目的

COVID-19 流行拡大に伴う登校自粛やオンライン授業の導入など学習環境の変化に対する学生の意識を明らかにします。特に、学習環境に対する学生の意識を対面授業の制限の強化／緩和と関連づけて解析することで、オンライン授業、対面授業が学習環境に対する学生の意識に与える影響を明らかにします。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

医学科第1-6学年学生

2) 目標症例数 1575名

3) 研究期間

2021年2月18日から2022年8月31日までとします。

4) 研究方法

2020年後期、2021年度前期および後期に実施された、医学科学生を対象にした学習環境調査で収集された資料を用いて、解析を行います。

5) 使用する資料・情報

医学科第1-6年学生を対象にした学習環境調査で収集された資料を研究に用います。

6) 情報の保存

研究責任者は、「人体から取得された試料及び情報等の保管に関する手順書」に基づき、研究の実施に係わる文書（申請書類の控え、研究機関の長からの通知文書、各種申請書・報告書の控え、その他データの信頼性を保証するのに必要な書類または記録など）を適切に保存し、研究成果の発表5年後に廃棄します。

7) 情報の保護

情報には、学籍番号や名前、住所などの個人を識別できる情報は一切含まず、資料はコード番号を用いて管理します。資料・情報の回収作業は、データマネージメント責任者が担当します。データマネージメント責任者は、回答に欠損がない資料から解析に必要な情報を抽出し、専用のデータベースに入力します。個人情報管理者として、田中朋子を置きます。

8) 研究資金源及び利益相反に関する事項

本研究では、奨学寄附金（企業以外）を使用します。

本研究の実施にあたり、研究責任者および研究分担者には利益相反に該当する事項はありません。

9) 研究計画書および個人情報の開示

研究対象者は、希望すれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができます。また、この研究への協力を拒否することができます。

上記の説明内容についてお分かりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。この研究はあなたからの回答資料を個人情報がわからないかたちで、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。この研究にご質問等がありましたら下記の連絡

先までお問い合わせください。お問い合わせをいただいた場合でも、教育や学生支援に関して学生の皆さんに不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

研究責任者

三重大学大学院医学系研究科医学医療教育学分野 教授

堀 浩樹

〒514-8507 三重県津市江戸橋2丁目174番地

電話：059-231-6003（内線 6412）

FAX：059-231-6013

E-mail：[hhori@clin.medic.mie-u.ac.jp](mailto:hgori@clin.medic.mie-u.ac.jp)